長門市

「2020 年度　人権に関する市民意識調査」
調査表

令和２年１２月

（ N = 284）

＜調 査 主 体＞　　長　門　市

まず、人権に関することがらについて、広くお尋ねします。

（全員の方にお尋ねします）

問 1. あなたは、これまで、学校、職場及び地域で、人権問題についての授業、講義等を受けたことがありますか。**（一つに○）** **N=284**

1. 受けたことがある	157 人(55.3)
2. 受けたことはあるが、どこで受けたか覚えていない	16 人 (5.6)
3. 受けたかどうか覚えていない	35 人(12.3)
4. 受けたことはない	76 人(26.8)

問 1 で「1. 受けたことがある」を選択された方にお尋ねします。

問 1-1. あなたがこれまで受けた、学校、職場及び地域での、人権問題についての授業、講義等で、該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=157**

1. 小学校、中学校、高校、大学等の教育機関で受けた	124 人(79.0)
2. 市民対象の講演会や講座で受けた	40 人(25.5)
3. 職場の研修で受けた	81 人(51.6)
4. 法務省の人権擁護機関（法務局、人権擁護委員）による人権教室で受けた	6 人(3.8)
5. その他の場所で受けた	5 人(3.2)
	(M.T=163.1)

（全員の方にお尋ねします）

問 2. あなたは、これまで、ご自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。**（一つに○）**

N=284

1. 思ったことはない	177 人(62.3)
2. よく覚えていない	39 人(13.7)
3. 答えたくない	5 人(1.8)
4. 思ったことがある	63 人(22.2)

次ページの**問 2-1** へ進む

次ページの**問 3** へ進む

問２で「４．思ったことがある」を選択された方にお尋ねします。

問 2-1. それはどのような場合ですか。該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=63**

1. あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口	28 人(44.4)
2. 名誉・信用のき損、侮辱	19 人(30.2)
3. プライバシーの侵害	13 人(20.6)
4. 暴力、脅迫、強要	7 人(11.1)
5. 差別的取扱い	10 人(15.9)
6. 地域社会での嫌がらせ	10 人(15.9)
7. 学校でのいじめ	14 人(22.2)
8. セクシュアル・ハラスメント	12 人(19.0)
9. パワー・ハラスメント	18 人(28.6)
10. 職場での嫌がらせ	17 人(27.0)
11. ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナーからの暴力）	6 人(9.5)
12. 児童虐待	3 人(4.8)
13. その他	5 人(7.9)
	(M.T=257.1)

（全員の方にお尋ねします）

問 3. あなたは、人権問題に関する相談窓口として、どのようなものを知っていますか。該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=284**

1. 法務局	65 人(22.9)
2. 人権擁護委員	101 人(35.6)
3. 警察	104 人(36.6)
4. 都道府県の相談窓口	69 人(24.3)
5. 市（区）町村の相談窓口	152 人(53.5)
6. 弁護士会の相談窓口	61 人(21.5)
7. 法テラス	44 人(15.5)
8. 民間運動団体	15 人(5.3)
9. 民間の相談窓口	39 人(13.7)
10. その他	5 人(1.8)
11. 知らない	63 人(22.2)
	(M.T=252.8)

（全員の方にお尋ねします）

問 4. 日本における人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=284**

1. 女性	93 人(32.7)	**12.** 犯罪被害者等	47 人(16.5)
2. 子ども	93 人(32.7)	**13.** インターネット上の人の人権侵害	118 人(41.5)
3. 高齢者	69 人(24.3)	**14.** 北朝鮮当局によって拉致された被害者等	51 人(18.0)
4. 障害者	154 人(54.2)		
5. 部落差別（同和問題）	85 人(29.9)	**15.** ホームレス	27 人(9.5)
6. アイヌの人々	22 人(7.7)	**16.** 性的指向・性自認（ＬＧＢＴ）	50 人(17.6)
7. 外国人	35 人(12.3)	**17.** 人身取引（性的搾取, 強制労働等を目的とした人身取引）	17 人(6.0)
8. ＨＩＶ感染者等	32 人(11.3)		
9. ハンセン病患者・回復者等	25 人(8.8)	**18.** 東日本大震災に伴う人権問題	19 人(6.7)
10. 新型コロナウイルス感染者等	124 人(43.7)	**19.** その他	6 人(2.1)
11. 刑を終えて出所した人	46 人(16.2)	**20.** 関心がない	27 人(9.5)

（M.T=401.4）

（全員の方にお尋ねします）

問 5. あなたは、「部落差別の解消の推進に関する法律」を知っていますか。**（一つに○）** **N=284**

1. 知っている	39 人(13.7)
2. 法律の名前は聞いたことはあるが, 内容までは知らない	91 人(32.0)
3. 知らない	154 人(54.2)

（全員の方にお尋ねします）

問 6. あなたは、「部落差別」又は「同和問題」という言葉を聞いたことがありますか。
（一つに○） **N＝284**

1. 聞いたことがある	262 人(92.3)	**2.** いずれも聞いたことがない	22 人(7.7)

次ページの**問 6-1** へ進む

11 ページの**フェイスシート(FS)**へ進む

問６で部落差別又は同和問題という言葉を「１．聞いたことがある」を選択された方にお尋ねします。

問 6-1. あなたがはじめて部落差別又は同和問題の言葉を聞いた時期をお答えください。

（一つに○） **N=262**

1． ６歳未満	2 人(0.8)	**4．** １５歳以上１８歳未満	36 人(13.7)
2． ６歳以上１２歳未満	93 人(35.5)	**5．** １８歳以上	35 人(13.4)
3． １２歳以上１５歳未満	44 人(16.8)	**6．** 聞いたことはあるが、聞いた時期は覚えていない	52 人(19.8)

問 6-2. あなたは、部落差別又は同和問題といわれているものがどういう内容のものか知っていますか。**（一つに○）** **N=262**

1． 知っている　109 人(41.6)　**2．** 何となく知っている　137 人(52.3)　**3．** 知らない　16 人(6.1)

次ページの**問 7** へ進む

11 ページの**フェイスシート(FS)**へ進む

ここからは、部落差別（同和問題）についてお尋ねします。

以降の質問（問 7～17）は、問 6-2 で「1．知っている」又は「2．何となく知っている」を選択された方にお尋ねします。

問 7. あなたは、部落差別が不当な差別であるのを知っていますか。**（一つに○）** **N=246**

1． 知っている	224 人(91.1)	**3．** 部落差別は不当な差別ではない	4 人(1.6)
2． 知らない	18 人(7.3)		

問 8. あなたは、何をきっかけに部落差別（同和問題）について知りましたか。該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=246**

1． 家族（祖父母, 父母, 兄弟等）から聞いた	99 人(40.2)
2． 親戚の人から聞いた	18 人(7.3)
3． 近所の人から聞いた	33 人(13.4)
4． 職場の人から聞いた	32 人(13.0)
5． 友だちから聞いた	28 人(11.4)
6． 学校の授業で教わった	118 人(48.0)
7． テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った	55 人(22.4)
8． インターネットや SNS の記事等で知った	8 人(3.3)
9． 部落差別に関する集会や研修会で知った	29 人(11.8)
10. 都道府県や市区町村の広報誌や冊子等で知った	30 人(12.2)
11. 法務省や法務局の啓発資料等で知った	9 人(3.7)
12. 部落差別の問題は知っているが、 きっかけは覚えていない	25 人(10.2)
13. その他（ ）	7 人(2.8)
	(M.T=199.6)

問 9. あなたの周りで親戚や知人などが、実際に部落差別に当たる言動をしたり、しているのを見聞きしたことがありますか。（過去１０年以内）**（一つに○）** **N=246**

1． ある	60 人(24.4)	**2．** ない	186 人(75.6)

次ページの**問 9-1** へ進む

次ページの**問 10** へ進む

問９で「１．ある」を選択された方にお尋ねします。

問 9-1. そのような経験があった方は，どのような場面，事例であったのかについて，該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=60**

1． 結婚や交際	40 人(66.7)	**6．** インターネット上の書込み	1 人(1.7)
2． 就職や職場	14 人(23.3)	**7．** 同和地区（被差別部落）の所在地等の公表	12 人(20.0)
3． 身元調査	13 人(21.7)	**8．** 住宅購入や転居時（同和地区を避ける）	9 人(15.0)
4． 落書き，貼り紙	2 人(3.3)	**9．** その他（具体的に：　　）	2 人(3.3)
5． 悪口	18 人(30.0)		

(M.T=185.0)

問 10. あなたは，部落差別の問題に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。**（一つに○）** **N=246**

1． インターネットを利用したことがない	96 人(39.0)
2． インターネットを利用しているが、見たことがない	127 人(51.6)
3． 見たことがある	23 人(9.3)

問 10 で「3．見たことがある」を選択された方にお尋ねします。

問 10-1. どのような内容のものを見ましたか、該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N=23**

1． 個人を名指しした悪口	8 人(34.8)	**4．** 差別の呼びかけ	2 人(8.7)
2． 個人を名指ししない、集団に対する悪口	10 人(43.5)	**5．** その他	2 人(8.7)
3． 同和地区（被差別部落）名の公表	8 人(34.8)		

(M.T=130.4)

問 11. あなたは、現在でも部落差別があると思いますか。**（一つに○）** **N＝246**

1． 部落差別はいまだにある	179 人(72.8)	**2．** 部落差別はもはや存在しない	67 人(27.2)

次ページの**問 11-1** へ進む

次ページの**問 12** へ進む

問 11 で「1．部落差別はいまだにある」を選択された方にお尋ねします。

問 11-1. 現在でも部落差別が残っているとすれば、その原因はどこにあると思いますか。この中から**いくつでも**あげてください。 **N=179**

1．	部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから	111 人(62.0)
2．	落書きやインターネット上などで差別を助長する人がいるから	30 人(16.8)
3．	これまでの教育や啓発が十分でなかったから	34 人(19.0)
4．	昔からある偏見や差別意識を，そのまま受け入れてしまう人が多いから	149 人(83.2)
5．	地域社会や家庭において偏見が植え付けられることがあるから	76 人(42.5)
6．	同和地区（被差別部落）が行政から優遇されていたように感じるから	22 人(12.3)
7．	道路や水道などインフラ整備が十分でない地域がまだ残っているから	6 人(3.4)
8．	「同和は怖い」という意識がまだ残っているから	29 人(16.2)
9．	教育や啓発をやり過ぎたから	13 人(7.3)
10.	その他	5 人(2.8)
11.	特にない	1 人(0.6)
12.	わからない	4 人(2.2)
		(M.T=268.2)

問 12. あなたは、近所の人が、同和地区（被差別部落）の出身者であるか否か気になりますか。
（一つに○） **N=246**

1． 気になる　16 人(6.5)　**2．** 気にならない　194 人(78.9)　**3．** わからない　36 人(14.6)

問 13. あなたは、交際相手や結婚相手が、同和地区（被差別部落）の出身者であるか否か気になりますか。
（一つに○） **N=246**

1． 気になる　55 人(22.4)　**2．** 気にならない　117 人(47.6)　**3．** わからない　74 人(30.1)

問 14. あなたは、求人に対する応募者や職場の同僚が、同和地区（被差別部落）の出身者であるか否か気になりますか。**（一つに○）** **N=246**

1． 気になる　16 人(6.5)　**2．** 気にならない　196 人(79.7)　**3．** わからない　34 人(13.8)

問 15. あなたは、住宅を購入したり、引っ越しをする際、物件が同和地区の区域内であるか気になりますか。**（一つに○）** **N=246**

1． 気になる　64 人(26.0)　**2．** 気にならない　99 人(40.2)　**3．** わからない　83 人(33.7)

問 16. あなたは，これまでに，部落差別の問題についての講演会や研修会に参加したり，新聞・雑誌・インターネット等の部落差別解消のための啓発に関連する記事を読んだりしたことがありますか。ある方もない方も，(1)から(5)について，それぞれお答えください。**（それぞれ一つに○）**

N=246

（1）講演会や研修会，地域懇談会，人権フェスティバルなどのイベント

1． 3回以上参加した	39 人(15.9)	**3．** 参加したことはない	159 人(64.6)
2． 1～2回参加した	48 人(19.5)		

（2）市町村等の広報誌，パンフレット，掲示物(ポスター，看板等)

1． 3種類以上 読んだり，見たりした	40 人(16.3)
2． 1～2種類読んだり，見たりした	85 人(34.6)
3． 読んだり，見たりしたことはない	121 人(49.2)

（3）新聞，書籍，雑誌

1． 3種類以上読んだり，見たりした	31 人(12.6)
2． 1～2種類読んだり，見たりした	95 人(38.6)
3． 読んだり，見たりしたことはない	120 人(48.8)

（4）インターネット

1． 3回以上見た	15 人(6.1)	**2．** 1～2回見た	21 人(8.5)	**3．** 見たことはない	210 人(85.4)

（5）テレビ，ラジオ，映画，ビデオ

1． 3種類以上， 見たり聞いたりした	36 人(14.6)
2． 1～2種類，見たり聞いたりした	102 人(41.5)
3． 見たり聞いたりしたことはない	108 人(43.9)

問 17. 部落差別に関する問題を解消するために効果的と思われることは何ですか。該当するものを**いくつでも**あげてください。 **N＝246**

1． 教育・啓発、相談体制の充実などの施策を推進する	101 人(41.1)
2． 被害者の救済を図る	27 人(11.0)
3． マスメディア（テレビや新聞など）がもっと問題を取り上げる	52 人(21.1)
4． 職場や地域社会でみんなが話し合えるような環境を作っていく	72 人(29.3)
5． 自然になくなるのを待つ	69 人(28.0)
6． どのようにしても差別はなくならない	45 人(18.3)
7． 部落差別に関する差別意識を解消する必要はない	6 人(2.4)
8． 効果的なものはない	26 人(10.6)
9． その他	9 人(3.7)
10． わからない	36 人(14.6)
	(M.T=180.1)

問 18. あなたは、部落差別に関する問題を解消するために、学校教育や啓発（講演会、研修会、広報等）を今後どのようにすればよいと思いますか。次のうち、あなたの考えに最も近いものを**1つだけ**お答えください。 **N＝246**

1． 積極的に行うべきである	35 人(14.2)
2． やるべきであるが、方法や内容を変えるべきである	66 人(26.8)
3． 今のままで十分である	33 人(13.4)
4． あまりやらない方がよい	40 人(16.3)
5． やるべきでない	21 人(8.5)
6． 部落差別に関する問題を解消する必要はない	2 人(0.8)
7． その他	3 人(1.2)
8． わからない	46 人(18.7)

問 18 で「2. やるべきであるが、方法や内容を帰るべきである」を選択された方にお尋ねします。

問 18-1. 方法や内容をどのように変えるべきか、該当するものを、この中から**いくつでも**あげてください **N=66**

1． 部落の歴史について学習する	34 人(51.5)
2． 現代の部落差別について学習する	12 人(18.2)
3． 当事者の体験談や生き様から学ぶ	23 人(34.8)
4． 差別をしてきた人の話を聞く	36 人(54.5)
5． 差別の仕組みや構造、差別解消の方策を学ぶ	12 人(18.2)
6． その他（　　）	12 人(18.2)
	(M.T=195.5)

最後に，この調査を統計分析するために，あなたご自身のことについてお伺いしま

<フェイス・シート（ＦＳ）>

F1. あなたの性別を教えてください。 **N=284**

1． 男性　137 人(48.2)	**2．** 女性　143 人(50.4)	**3．** その他　4 人(1.4)

F2. あなたの年齢を教えてください。（2020 年 12 月 1 日現在） **N=284**

1． １８～１９歳　2 人(0.7)	**6．** ４０～４４歳　25 人(8.8)	**11.** ６５～６９歳　36 人(12.7)
2． ２０～２４歳　10 人(3.5)	**7．** ４５～４９歳　16 人(5.6)	**12.** ７０～７４歳　41 人(14.4)
3． ２５～２９歳　6 人(2.1)	**8．** ５０～５４歳　17 人(6.0)	**13.** ７５～７９歳　26 人(9.2)
4． ３０～３４歳　17 人(6.0)	**9．** ５５～５９歳　15 人(5.3)	**14.** ８０歳以上　37 人(13.0)
5． ３５～３９歳　16 人(5.6)	**10.** ６０～６４歳　20 人(7.0)	

F3. あなたの職業は何ですか。 **N=284**

1． 雇用者（会社役員、管理職、自営業者等）	23 人(8.1)
2． 被雇用者（会社員、パート、アルバイト等）	68 人(23.9)
3． 公務員（公的団体職員を含む）	55 人(19.4)
4． 学生	4 人(1.4)
5． 無職（主婦・主夫を含み、学生を除く）	106 人(37.3)
6． その他	28 人(9.9)

以上でアンケートは終了です。
お忙しいところ，ご協力いただきまして，誠にありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒にて 12 月 25 日(金)までにご投函くださいますようお願いします。